

平成26年度群馬県環境賞顕彰(環境功績賞)の概要

1 顕彰式

- (1) 日時 平成26年11月13日(木) 午後2時～午後2時40分
 (2) 会場 群馬県庁 正庁の間(7階)

2 受賞者

6個人・8団体 計14個人・団体

(敬称略)

氏名または名称	受賞分野
わたなべ えいし 渡辺 栄志 (公社)群馬県環境資源保全協会理事	環境の保全及び創造の分野
特定非営利活動法人 利根川源流森林整備隊	環境の保全及び創造の分野
特定非営利活動法人 新田環境みらいの会	環境の保全及び創造の分野
広瀬川河畔緑の少年団	環境の保全及び創造の分野
前橋市立若宮小学校	環境の保全及び創造の分野
なかだ きいち 中田 紀一 伊勢崎市環境指導員会役員	環境美化、ごみの減量化及び再生利用等の分野
はぎぐち あきら 萩口 明 太田市環境保健委員長	環境美化、ごみの減量化及び再生利用等の分野
金山を美しくする会	環境美化、ごみの減量化及び再生利用等の分野
あおき まさお 青木 雅夫 群馬県自然環境調査研究会会員	自然保護の分野
さとう やすひろ 佐藤 康弘 NPO法人群馬県自然保護連盟理事	自然保護の分野
やまぐち かずお 山口 和雄	自然保護の分野
さんぽ あずま山歩の会	自然保護の分野
吾妻獺友会	野生生物保護の分野
渋川獺友会	野生生物保護の分野

3 顕彰の目的

良好な環境の保全・創造、自然保護に顕著な功績があったものに対し顕彰を行い、県民の環境に対する意識の高揚に資することを目的としています。

平成26年度群馬県環境賞顕彰(環境功績賞)受賞者の功績等

(敬称略)

番号	受賞者	功績概要及び活動状況
1	渡辺 栄志 (嬭恋村)	県環境資源保全協会理事として、不適正処理廃棄物投棄防止の立て看板設置や巡視パトロール等の不適正処理防止啓発活動を行政機関と連携し積極的に展開し、生活環境の保全に貢献している。 また、東日本大震災時には、災害緊急廃棄物対策委員長として人力・重機・車輛の動員体制強化に努め、被災地の復旧に尽力した。
2	特定非営利活動法人 利根川源流森林整備隊 (みなかみ町)	地元森林組合やボランティアなどで構成され、地域一体となって利根川流域における荒廃森林の整備を実施しており、森林生態や公益的機能の維持向上及び二酸化炭素吸収源対策や利根川流域の環境保全、鳥獣害対策等に貢献している。 設立以来、毎年100ha以上の森林整備を行うとともに、「21世紀の森フェスティバル」での森林整備にボランティア協力するなど精力的に活動している。
3	特定非営利活動法人 新田環境みらいの会 (太田市)	湧水地のクリーン作戦や生物多様性の調査の実施など、新田地域湧水地群を中心に自然環境保全活動に尽力している。 また、地元生品小学校の土曜スクールでの自然観察会、レジ袋削減のPR活動等、環境美化や地域住民の環境に対する意識の向上にも貢献している。
4	広瀬川河畔緑の少年団 (前橋市)	広瀬川河畔の8つの自治会が中心となって活動する、県内唯一の地域単位の緑の少年団であり、広瀬川河畔の除草・清掃活動や花壇・プランターの整備等の社会奉仕活動及び尾瀬や赤城のハイキング等レクリエーション活動を実施している。 広瀬川河畔の地域が一体となって活動し、広瀬川の清流及び緑豊かな自然環境の保全に貢献している。
5	前橋市立若宮小学校 (前橋市)	全校生徒による牛乳パック回収や節水・節電の実施、1年生によるグリーンカーテン作りなど、「ゴーゴーわかみや」を合い言葉に、幅広い環境教育を推進している。 また、高学年生が計画運営し地域の公園で「自然に親しむ会」や、町別で学校校庭の清掃等を行う「町別清掃」を行い、異学年と交流しながら地域の自然を大切にすることを育てている。
6	中田 紀一 (伊勢崎市)	市の環境指導員として、地区のごみステーション維持管理、ごみの分別指導や不法投棄パトロールなどに積極的に取り組み、環境美化に貢献している。 平成20年からは、市の環境指導員会役員を務め、他の環境指導員の模範になっている。
7	萩口 明 (太田市)	市の環境保健委員長として、地域のごみステーションの管理と清掃、ごみの分別収集推進など各種事業に取り組み、地域の環境美化に貢献している。 平成25年からは、市のポイ捨て防止推進員として啓発活動を行うなど、その献身的な活動は他の模範である。
8	金山を美しくする会 (太田市)	毎年9月の第1日曜日に地元企業や各種団体等約100団体、3,000名が参加してごみ拾いと草刈りを行う「金山清掃市民運動」を開催し、金山の環境保全に取り組んでいる。 この運動を機に各団体が地域の美化活動を行うなど、地域住民の環境美化意識の向上に貢献している。
9	青木 雅夫 (館林市)	県自然環境調査研究会の植物部門の中心メンバーとして、精力的に調査活動に取り組み、本県の絶滅の恐れのある野生生物の調査等で数多くの成果を収めている。 特に、館林市におけるハタケテンツキの群生地発見及びその調査報告を始め、東毛方面の水生植物の解明に貢献している。
10	佐藤 康弘 (前橋市)	県自然保護連盟理事として、自然観察会の指導、自然に親しむ運動や環境教育を実践し自然保護の普及啓発の推進に貢献している。 また、「南橋の自然観察と環境を守る会」の発足から中心メンバーとして生物の保護や自然観察会指導に尽力し、市民への環境教育の推進及び自然保護の普及啓発に努めている。
11	山口 和雄 (中之条町)	野反湖周辺にかつて自生していたシラネアオイ群落を復元するため、私有地で育てた苗を無料で提供し、地元中学生及び一般ボランティアとともに、植栽活動を行っている。貴重な高山植物を復元することによる自然保護への貢献に加え、地域一体となった活動を行うことにより、地域連携にも貢献している。
12	あずま山歩の会 (伊勢崎市)	前橋市粕川町のつつじヶ峰登山コースのササ刈りや枝切り、危険箇所の補修、ロープ取付等の登山道整備やごみ拾いを行い、粕川地域周辺山城のつつじなどの自然環境保護及び登山者の安全確保に尽力している。 また、前橋市が後援するトレッキング等のイベントにおいて、案内役を務めるなど、中高年齢者を中心に自然参画及び健康維持や増進に貢献している。
13	吾妻猟友会 (中之条町)	狩猟事故防止並びに違反防止のための狩猟事故防止指導員による指導、狩猟パトロールや射撃研修会などを実施し、狩猟の適正化やマナー向上に努めている。また、野生鳥獣の保護のため、放鳥事業を実施するほか、行政からの要請による有害鳥獣捕獲事業等を実施するなど、野生鳥獣の適正管理に貢献している。
14	渋川猟友会 (渋川市)	安全な狩猟の周知徹底に努め、狩猟技術や狩猟道徳向上のための講習会を実施しているほか、狩猟期間中にはパトロールを行うなど、狩猟事故・違反防止に努めている。また、野生鳥獣の保護増殖のため、キジ・ヤマドリ等の放鳥を実施するほか、行政からの要請による有害鳥獣捕獲事業等を実施するなど、野生鳥獣の適正管理に貢献している。